

HOSEI

法政大学

Sakaiを基盤とした アプリケーション開発事例

MARCH 26, 2008

児玉靖司

法政大学経営学部 / 情報技術 (IT) 研究センター 常盤祐司、八名和夫 法政大学 古森貞 ㈱エイムラック



- ・はじめに
- Sakaiに関する概要

国際化と 開発

- バグフィックスとツールの国際化
- ・ 出席管理システム

今後の課題

- 研究
- 今後の課題



はじめに

授業支援 システム

- 大学独自の要求定義
- 商用 V.S. オープンソース
- 独立したツール

ソフトウエア ・国際性

- 大規模大学 (4万人)
- 独自開発



はじめに

研究用桑

- ソフトウエア工学
- オブジェクト指向
- アスペクト指向

法政大学・新しいツールの設計開発

- 現場からの要求を定義
- 既存ツールの国際化



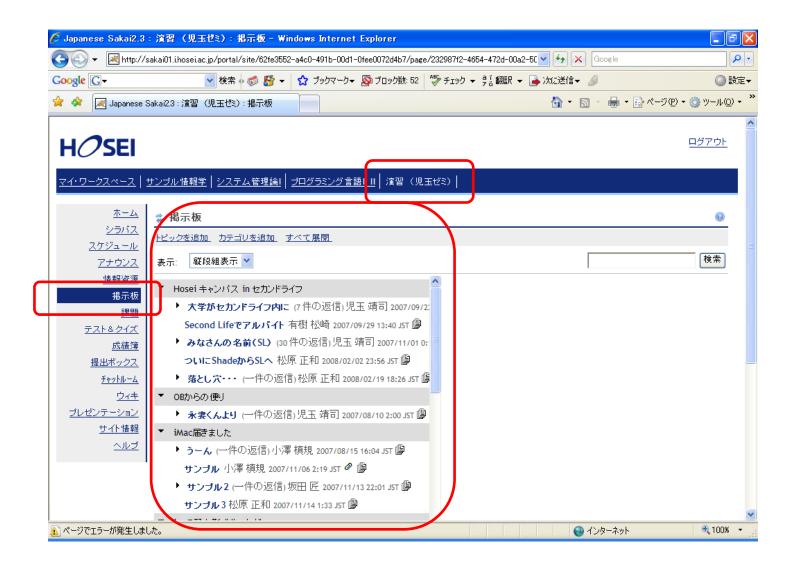
Sakaiの概要

http://sakai01.i.hosei.ac.jp/portal/



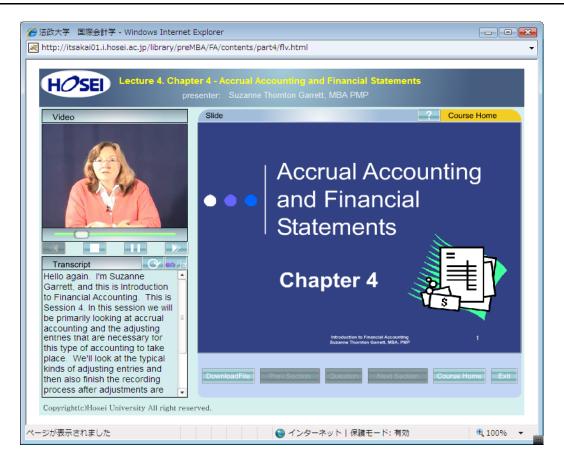


Sakaiの概要 (掲示板)





Sakaiの概要(授業コンテンツ)



http://itsakai01.i.hosei.ac.jp/portal/

http://sakai01.i.hosei.ac.jp/portal/



バグフィックスとツールの国際化

バグフィックス(英語以外)

文字化け

姓名 テキスト入力



国際化

ヘルプツール

揭示板

その他



国際化

言語の切替

- ・サーバ起動時
- 各ユーザの設定 (Preference)
- ツール毎

技術的問題

- 8ビットスルー
- 16ビットスルー
- 国際化対応のJava



国際化 (ヘルプツール)

HØSEI		ユーザ ID パスワード:	ログイン
ようこそ	法政大学授業支援システム		9
Sakailこついて 特徴 インストール	法政大学授業支援システム On-demand Internet Class, Hosei University		
<u>サイト</u> 新規登録	平成17年6月24 関連サイト	日より 004498 人目の訪問者です。本日 🗪 昨日 🗰 🖰	
△ルゴ	 ▶ Sakai Project ▶ 授業支援システム ▶ 授業コンテンツ ▶ アメ研 ▶ Sakai こついて、特徴、インストール ▶ システム管理論、C言語 	 IT研究センター 法政大学アメリカ研究所 ・ 勝エイムラック ト 情報メディア教育・研究センター ・ 総合情報センター ト ポッドキャスト 	
	620-00		
	 ▶ ID: guest Passwd: guest ▶ ID: guest1 Passwd: guest1 ▶ ID: guest2 Pssswd: guest2 ▶ ID: guest3 Passwd: guest3 	 ▶ ID: guest4 Passwd: guest4 ▶ ID: guest5 Passwd: guest5 ▶ ID: guest6 Passwd: guest6 ▶ ID: guest7 Passwd: guest7 	
	Consulta Organia	Company of the compan	

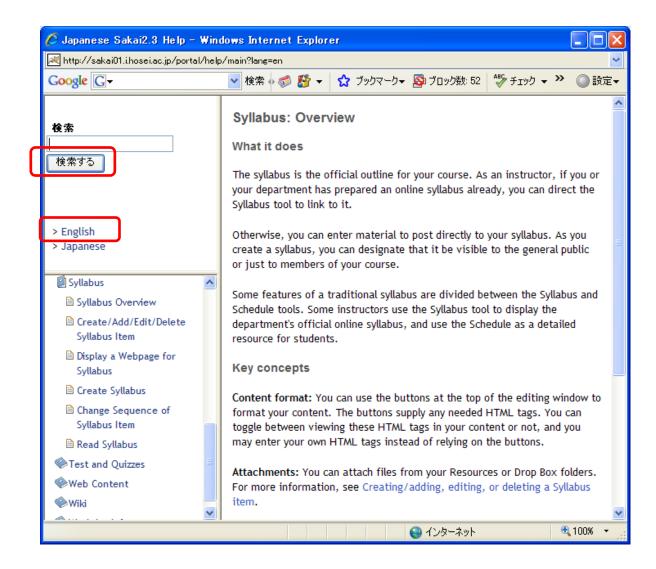


国際化 (ヘルプツール)





国際化 (ヘルプツール)

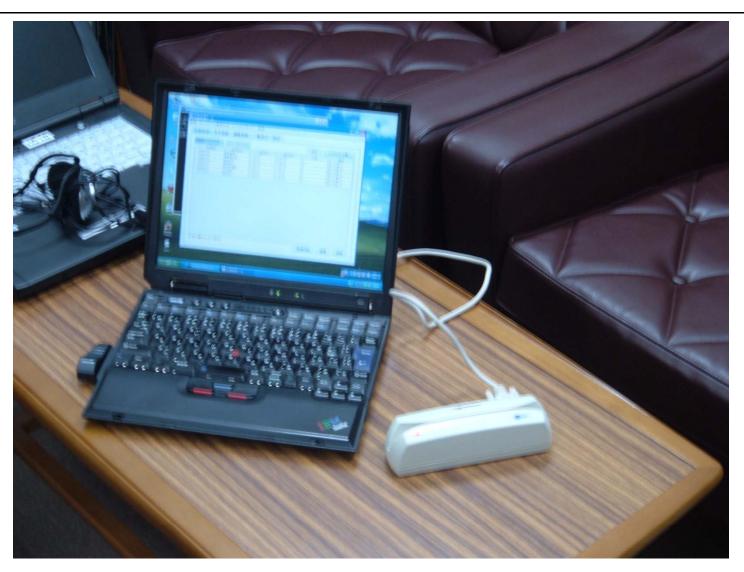




Sakai





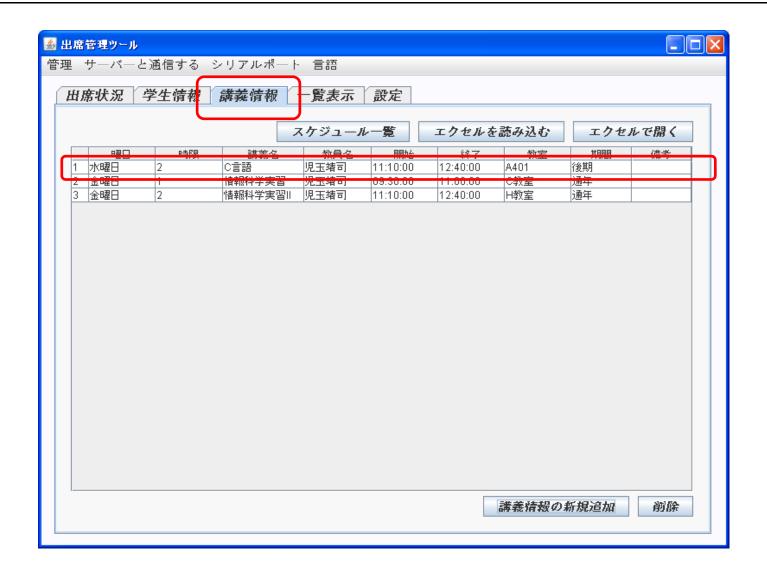




- •PC上のクライアントソフトウエア (PC側)
- •Sakaiのツール (Sakai側)
- •PCとSakaiは非同期通信
- •PC側ソフトウエアで一覧表まで作成
- •Sakai側ソフトウエアは、 成績簿 (Gradebook) と連携

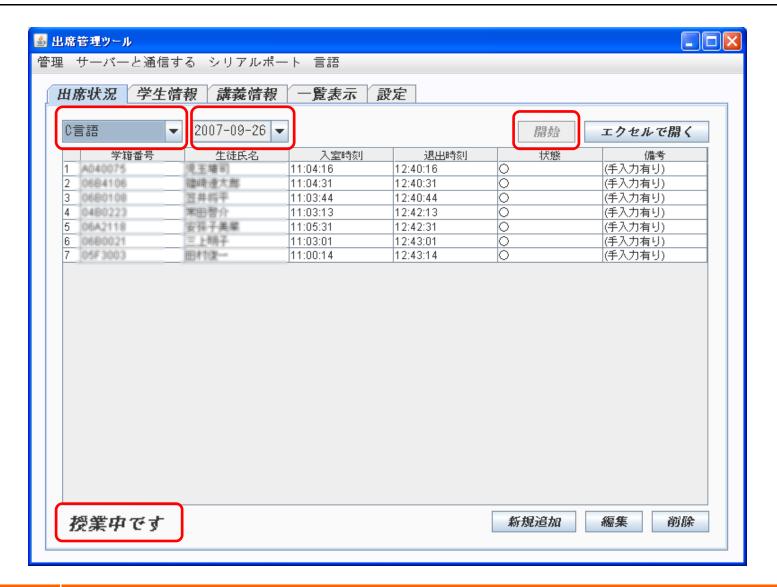


出席管理システム (講義情報)





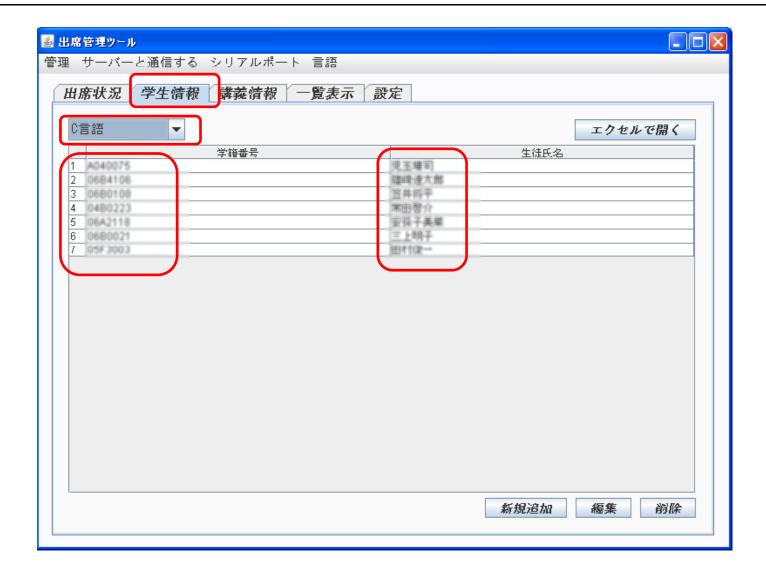
出席管理システム (出席状況)



カ ッ ピ

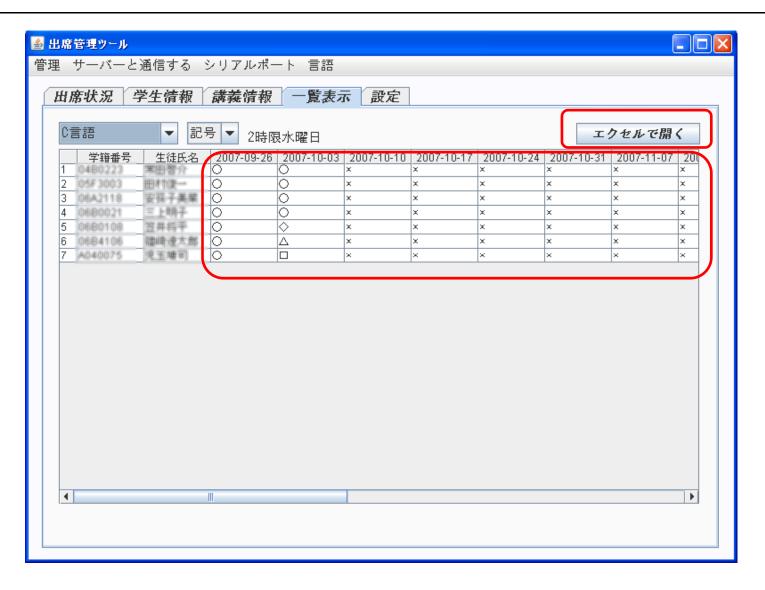


出席管理システム (学生情報)



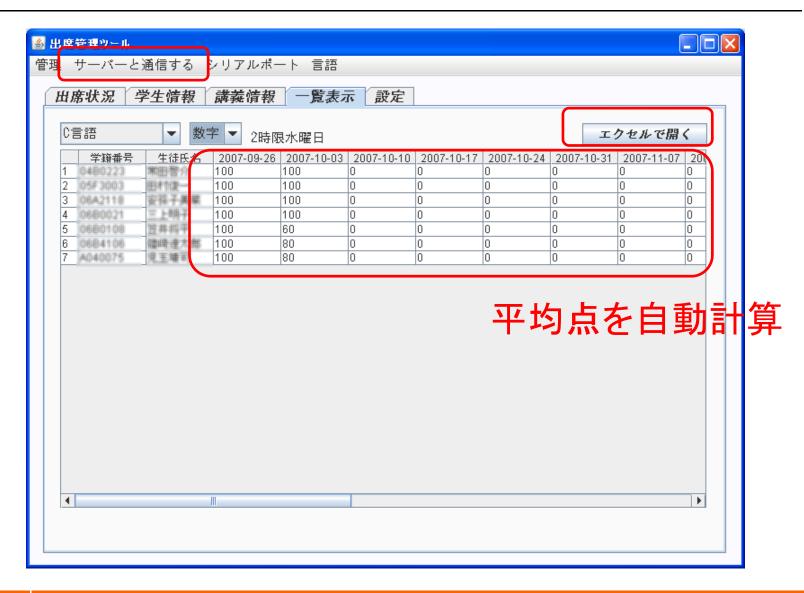


出席管理システム (一覧表示)



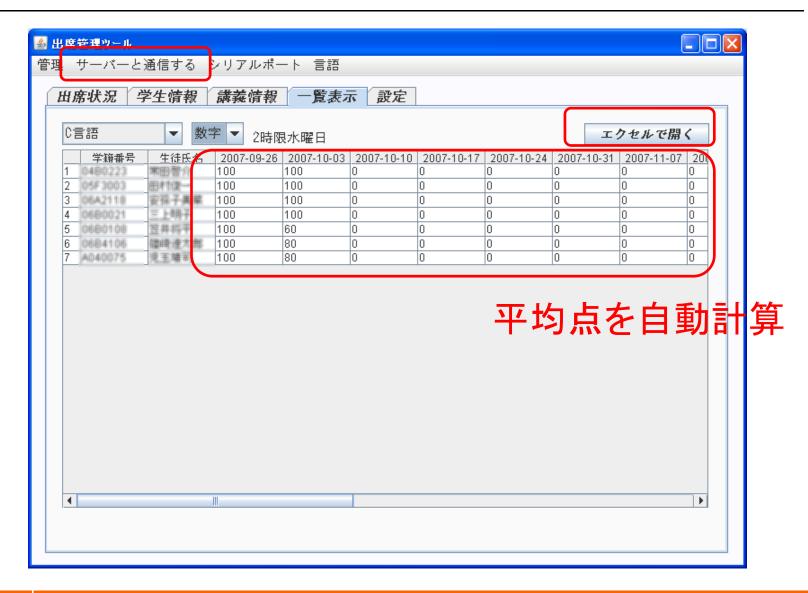


出席管理システム (一覧表示)



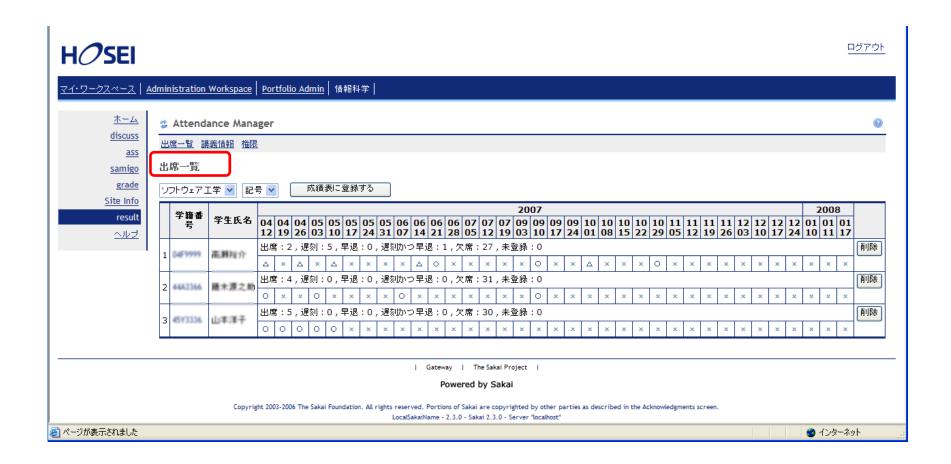


出席管理システム (Sakai側)





出席管理システム (一覧表示)

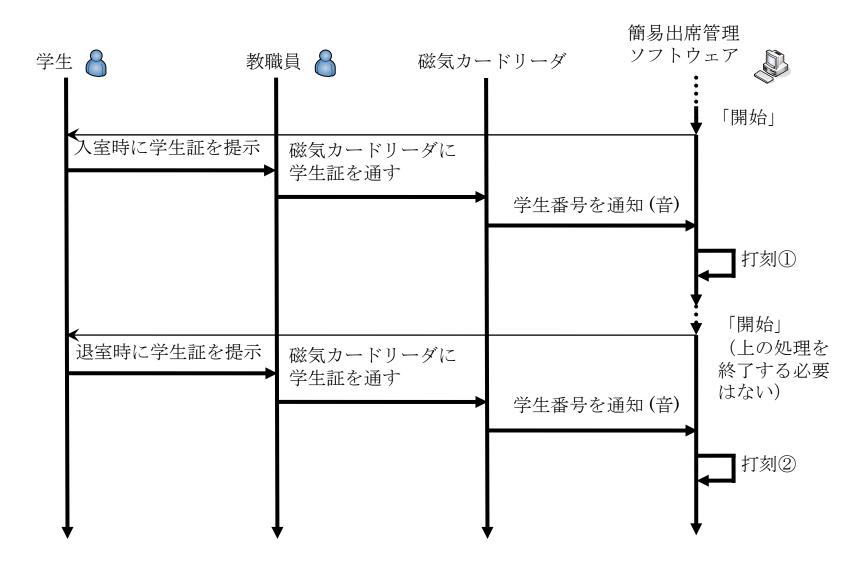




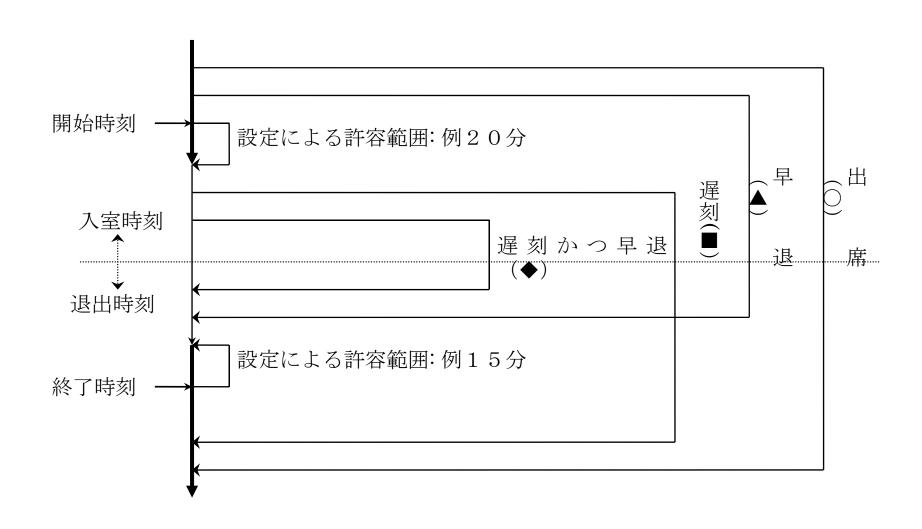
出席管理システム (Sakai側)







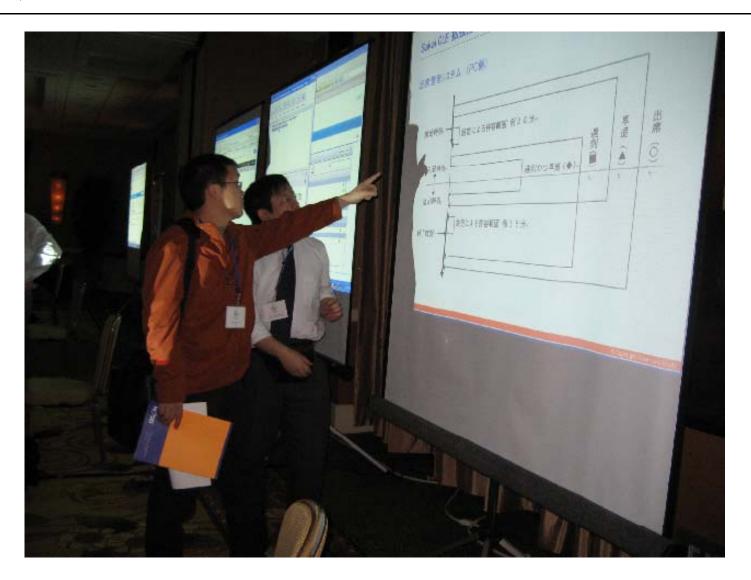














研究

- •オブジェクト指向
- アスペクト指向 => モジュールの動的適用Weaving
- データベース => バージョンアップ, 結合



今後の課題 (出席管理システム)

- •PCとカードリーダの一体化
- ・Sakaiとの一体化
- •新しいデバイスへの対応 (ICカードなど)
- •大教室への対応 (複数台用意、データベースのマージ)
- •携帯電話との連携
- •国際化 (日本語、英語以外)
- •Linux、Javaのバージョンアップへの対応



今後の課題 (Sakaiへの取り組み)

- •要求定義
- •優先順位 (プロジェクトマネージメント)
- •既存ツールの国際化
- •新しいツールの設計、開発
- •実際の運用体制